

世界遺産 縄文



world heritage Jomon



2026

1.17^土



遮光器土偶
7体集合

→ 3.8^日

群馬県立歴史博物館

開館時間：午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日、2月24日(火)

※ただし2月23日(月)は開館

観覧料

一般1,000円
(800円)

大学・高校生500円
(400円)

中学生以下
無料

主催：群馬県立歴史博物館
後援：群馬県教育委員会、
上毛新聞社、NHK前橋放送局、
群馬テレビ、FM GUNMA、
ラジオ高崎

企画制作：tbc東北放送、東北歴史博物館

※()内は20名以上の団体割引料金

※障がい者手帳等持参者とその介護者1名は無料



遮光器土偶が見ていた世界。



国宝土偶がやってくる

実物は1月17日(土)～2月15日(日)の展示

①遮光器土偶(手代森遺跡 文化庁蔵 岩手県立博物館保管・写真提供) ②遮光器土偶・部分(藤株遺跡 東北大学大学院文学研究科) ③板状土偶(伊勢堂岱遺跡 北秋田市) ④彩文漆塗り浅鉢形土器(亀ヶ岡遺跡 青森県立郷土館蔵 風韻堂コレクション) ⑤鹿角製櫛[複製](ニッ森貝塚 青森県埋蔵文化財調査センター) 出典：JOMON ARCHIVES ⑥装飾突起をもつ台付深鉢形土器(大湯環状列石 鹿角市教育委員会) 出典：JOMON ARCHIVES ⑦中空土偶(著保内野遺跡 函館市) ※遮光器土偶のメガネの中の風景は御所野遺跡(一戸町)

世界遺産 縄文

world heritage Jomon

今から約16,000年前に始まった縄文時代。縄文人は狩猟や漁労、採集などを行い、定住をしていました。こうしたライフスタイルが1万年以上も続いた縄文文化は世界的に見ても大変ユニークです。

本展では、2021年に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の出土品を中心に、国宝「中空土偶」や多数の遮光器土偶、さらに豊富な貝塚出土資料など北に華開いた縄文文化を紹介します。また、群馬を代表する縄文時代遺跡の桐生市千網谷戸遺跡出土品(国重文)も併せて展示します。

この冬、サステナブルな縄文人の世界を探求してみませんか。

縄文人は
とっても器用！
精巧な魚取りの道具

縄文人の一年

自然と共生して
サステナブルな
生活を送った
縄文人の一年の
くらしを感じる。

交通案内

電車の場合

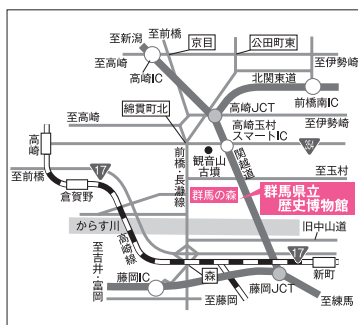
- 東京方面から 上越新幹線・北陸新幹線 東京～高崎(約1時間)
- 高崎線 上野～高崎・倉賀野(約1時間50分)

バスの場合

- 高崎市内循環バス「ぐるりん」 JR高崎駅東口から「岩鼻線」(約25分)、「群馬の森線」(約30～40分)
- JR倉賀野駅から「岩鼻線」(約9分)
- ※いずれもバス停「群馬の森」下車

自動車の場合

- 関越自動車道 高崎玉村スマートICから(車で約10分)、高崎ICから(車で約15分)
- 北関東自動車道 前橋南ICから(車で約15分)
- 上信越自動車道 藤岡ICから(車で約10分)



群馬県立歴史博物館
Gunma Prefectural Museum of History

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1
アイ・ディー・エー群馬の森内
TEL 027-346-5522 FAX 027-346-5534



展覧会HP



当館HP



縄文の一万年

土器や道具の
移り変わりなどから
長く続いた縄文時代をたどる。



1



2



4



3



5



6



9



縄文人も子どもの
手形や足形をとっていた!?



遠くの人と
交流!?

縄文人の一生

誕生から成長、
死までの過程を
追いながら縄文人の
すがたや心に迫る!



10



中空土偶

国宝

土偶がやってくる!

1. 遮光器土偶(豊岡遺跡 岩手県立博物館) 2. 注口土器(亀ヶ岡遺跡 東北大学大学院文学研究科)
3. 遮光器土偶(八日町遺跡 青森県立郷土館 風韻堂コレクション) 4. 円筒(上層式)土器(御所野遺跡 一戸町教育委員会) 5. 遮光器土偶(星宮遺跡 大仙市) 6. 手形・足形土製品[複製](大石平(1)遺跡 青森県立郷土館) 7. 漁労具(里浜貝塚 東北歴史博物館) 8. キノコ形土製品(大湯環状列石 鹿角市教育委員会) 出典: JOMON ARCHIVES 9. ヒスイの珠(川目C遺跡 盛岡市遺跡の学び館)
10. 縄文人の頭蓋骨(台の下貝塚 気仙沼市教育委員会) 11. クマ形土製品(尾上山(1)遺跡 青森県立郷土館 風韻堂コレクション) 12. 石斧の柄[複製](中居遺跡 是川縄文館) ※遮光器土偶のメガネの中の風景は伊勢堂岱遺跡(北秋田市)

観覧料

	(20名以上の団体割引料金)
一般	1,000円 (800円)
大学・高校生	500円 (400円)
中学生以下	無料

※障がい者手帳等持参者とその介護者1名は無料
※常設展もご覧いただけます。

関連展示

常設展示室(原始)で、群馬を代表する縄文時代遺跡の桐生市千網谷戸遺跡の出土品(国重文)を展示します。



土製耳飾り
(桐生市教育委員会)

関連イベント

会場: 視聴覚室(定員140名) ◎参加費: 無料 ※ただし、会期中の観覧券(半券を含む)が必要 ◎1ヶ月前よりWeb・電話による事前申し込み

特別講演会◎午後1時30分～午後3時30分

演題 世界にほこれる縄文文化

講師: 岡村道雄氏(本展監修者、奥松島縄文村歴史資料館名誉館長、元文化庁主任調査官)

講演会 第1回◎午後1時30分～午後3時

演題 世界遺産 三内丸山遺跡から

みた縄文人のくらし

講師: 永嶋 豊氏(三内丸山遺跡センター保存活用課長)

講演会 第2回◎午後1時30分～午後3時

演題「世界遺産 縄文」と群馬の縄文

講師: 石田典子 当館学芸係長

学芸員展示解説(2回)

月日: 1月31日(土)、2月15日(日) ◎時間: 各回 14:45～15:15

会場: 企画展示室 ◎申込: 不要 ※当日の観覧券が必要